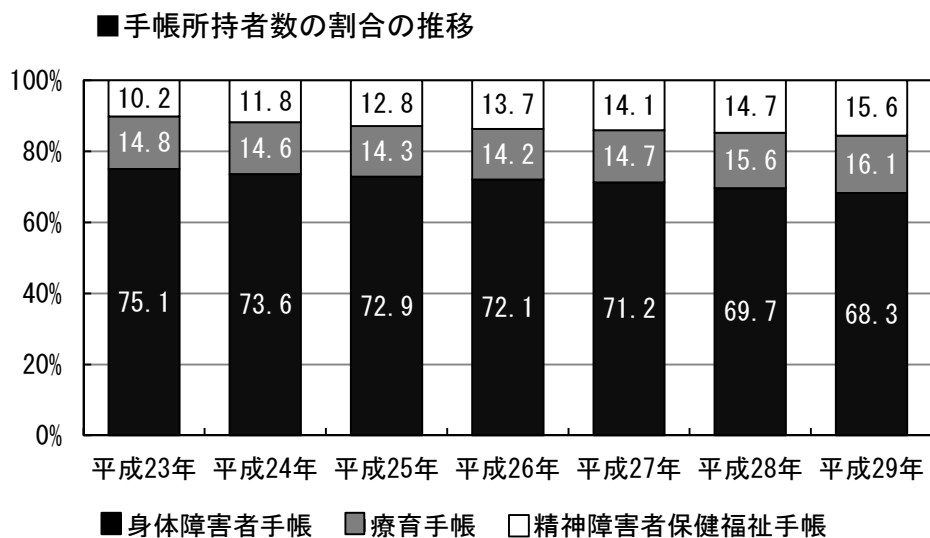
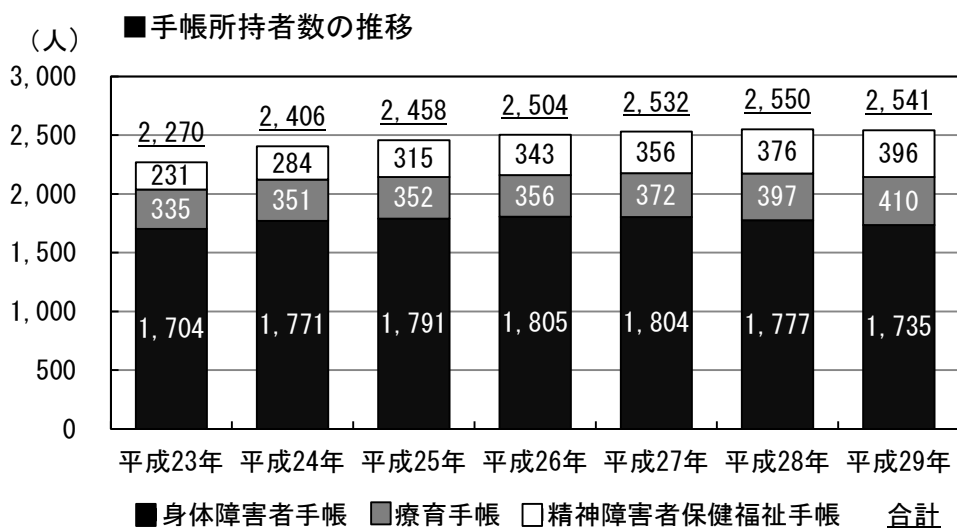


第2章 障がい者の推移

1 障がいのある人の状況

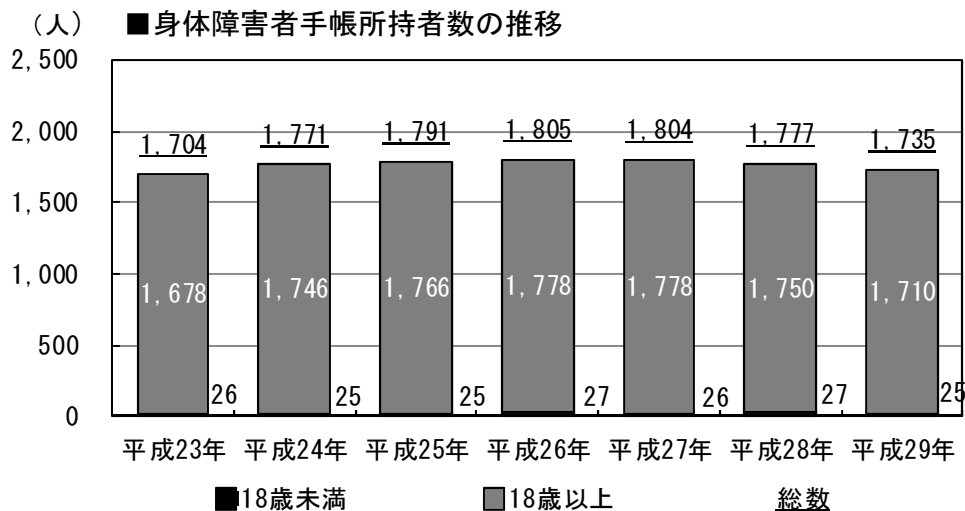
(1) 手帳所持者数の推移

手帳所持者数の推移をみると、平成29年4月現在で2,541人となっています。身体障害者手帳所持者は平成26年をピークに微減傾向にあり、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向にあります。



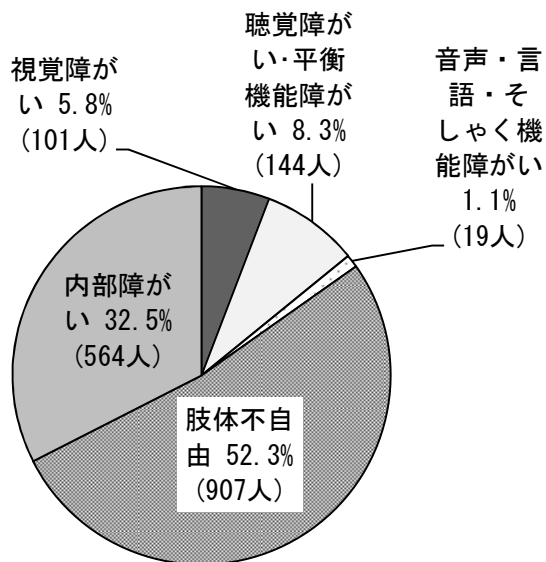
(2) 身体障害者手帳

身体障害者手帳所持者数の推移をみると、平成29年4月現在で1,735人となっています。障がい種別の割合では、肢体不自由が52.3%と最も高く、等級別では1級が25.9%と最も高くなっています。

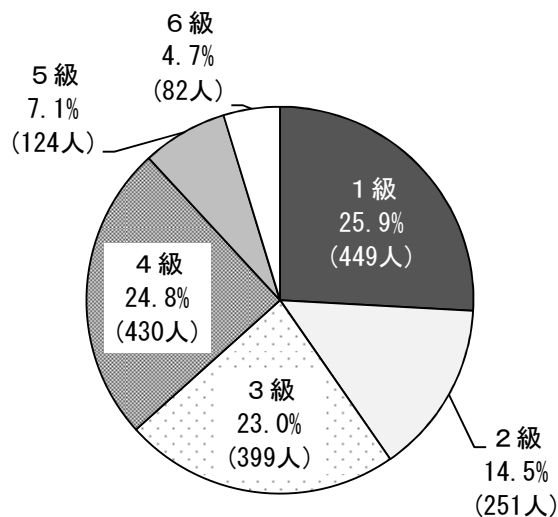


資料：平成29年度 常滑の福祉（各年4月1日現在）

■障がい種別の割合（平成29年4月）



■等級別の割合（平成29年4月）



資料：平成29年度 常滑の福祉

■障がい種別及び等級別の身体障害者手帳所持者数

(平成 29 年 4 月、単位：人)

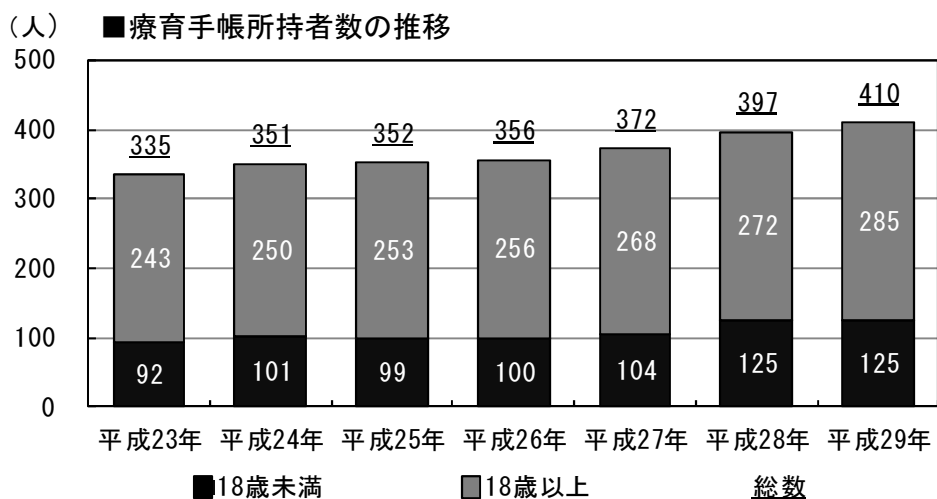
区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
視覚障がい	33	31	5	8	16	8	101
聴覚障がい・平衡 機能障がい	4	36(3)	24(1)	29	0	51	144(4)
音声・言語・そし やく機能障がい	0	1	12	6	0	0	19
肢体不自由	117(4)	178(4)	231(3)	250(3)	108(2)	23	907(16)
内部障がい	295(4)	5	127(1)	137	0	0	564(5)
計	449(8)	251(7)	399(5)	430(3)	124(2)	82	1,735(25)

※ () はうち 18 歳未満の人数

資料：平成 29 年度 常滑の福祉

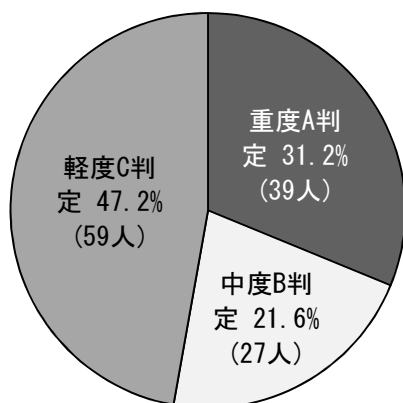
(3) 療育手帳

療育手帳所持者数の推移をみると、平成29年4月現在で410人となっており、概ね増加傾向となっています。障がい程度別の割合では、18歳以上で重度A判定が37.2%と最も高くなっており、18歳未満で軽度C判定が47.2%と最も高くなっています。

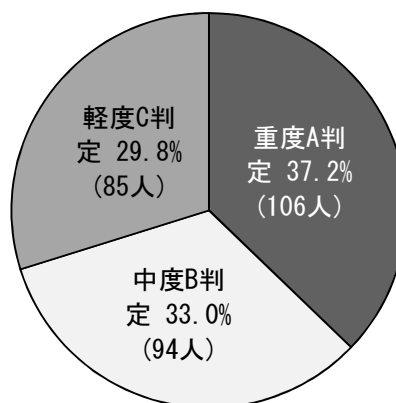


資料：平成29年度 常滑の福祉（各年4月1日現在）

■障がい程度別の割合（18歳未満）



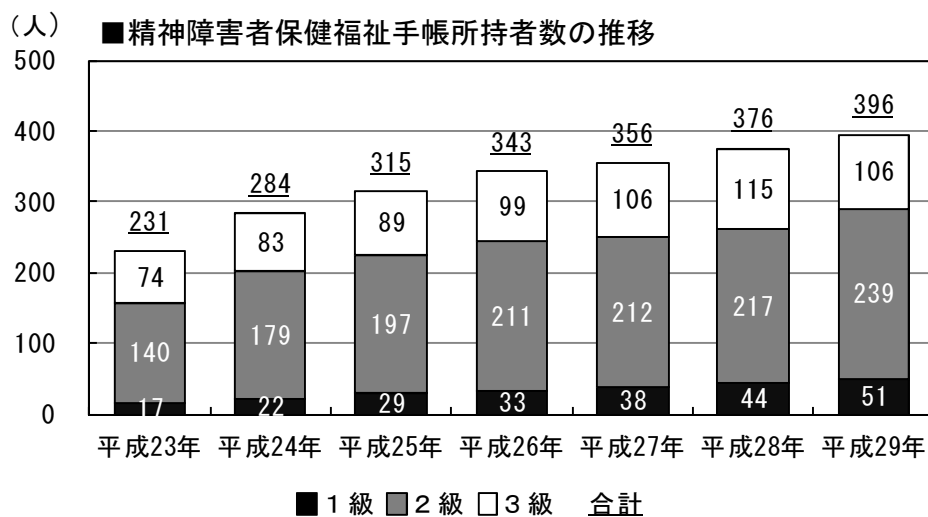
■障がい程度別の割合（18歳以上）



資料：平成29年度 常滑の福祉（平成29年4月1日現在）

(4) 精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移をみると、平成29年4月現在で396人となっており、増加傾向となっています。特に1級、2級で増加傾向にあります。

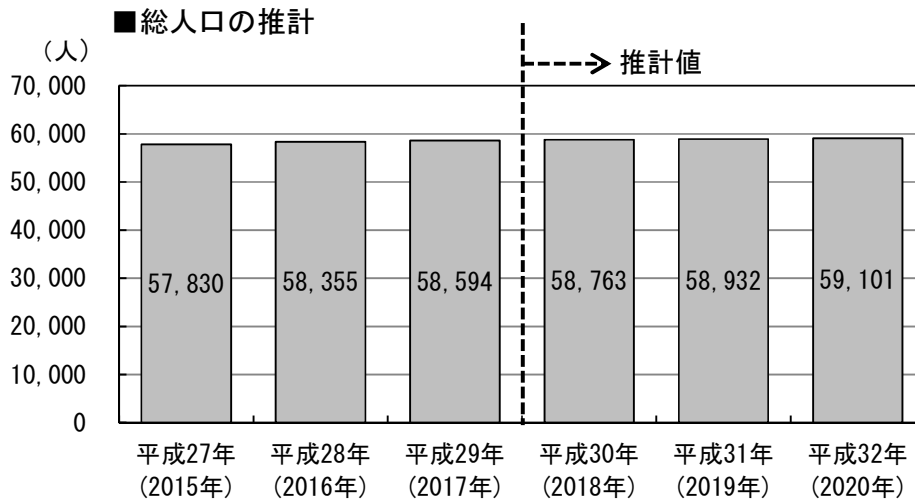


資料：平成29年度 常滑の福祉（各年4月1日現在）

2 総人口及び障がいのある人の推計

(1) 総人口の推計

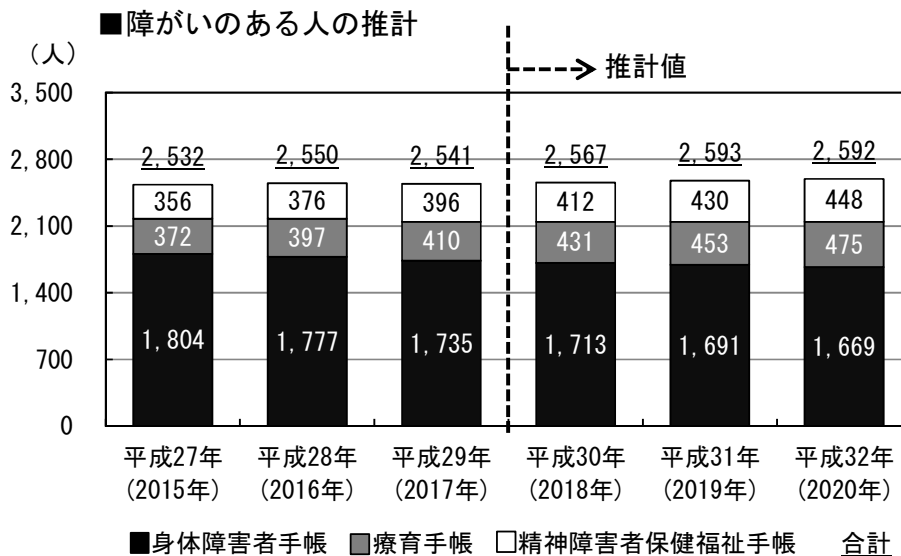
総人口の推計をみると、平成32(2020)年で59,101人となっており、平成29年と比較し、507人増加することが予測されます。



算出方法：第5次常滑市総合計画における人口推移を基に算出。

(2) 障がいのある人の推計

障がいのある人の推計をみると、身体障害者手帳所持者では減少、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者では増加していくことが予測されます。



算出方法：直近実績の出現率の伸び率が継続すると仮定して、各推計年の出現率を算出。各推計年の出現率に推計人口を掛けあわせて各手帳所持者を算出。